

SIDE TWIN CAMERA KIT サイドツインカメラキット NV350キャラバン(E26) H24.6~ (電動格納式ドアミラー装備車専用) 取付/取扱説明書

SCK-40C3W
12V車専用

このたびはデータシステム製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
●この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。その後大切に保管し、必要な時にお読みください。
●保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

【重要】取り付け前に

●本製品は2台のカメラがそれぞれ独立して映像を出力するため、ナビやモニターに直接接続することはできません。2つの映像を合成する当社製マルチカメラスプリッター(MCS293)が別途必要です。

ご相談窓口

サービス(技術的なお問い合わせ・修理受付)
お電話 086-486-0442
【受付時間】月曜日～金曜日 10:00～12:00 / 13:00～17:30
(年末年始・祝日など、弊社休業日を除く)

メールでのお問い合わせ(PC)

<http://www.datasystem.co.jp/support/mail/>

メールでのお問い合わせ(スマートフォン)

<http://www.datasystem.co.jp/sp/support/>



Data System 株式会社 データシステム

<http://www.datasystem.co.jp/>

■[本社] 東京都新宿区新宿1-18-2 ■[倉敷支社] 岡山県倉敷市神田1-1-11

本書は著作権法で保護されています。取扱(取付)説明書に記載の一部、または全部(デザイン含む)を(株)データシステムの許諾・許可なしに無断で転用・複製・改変・掲示・頒布・販売・出版などおこなうことを固く禁じます。
SCK-40C3W-1508-YUM

内容物一覧

- カメラ本体 ×2
- 電源ハーネス ×2
- カメラカバー ×1
- 正像/鏡像切り替えコネクタ ×2
- ピン端子ケーブル(2m) ×2
- クワ型端子 ×2
- コードクリップ ×4
- エレクトロタップ ×2
- 結束バンド ×5
- 取付/取扱説明書(本書) ×1
- 脱脂クリーナー ×1
- カメラカバー固定用両面テープ ×2
- 保証書&ユーザー保証登録カード ×1

注意事項の定義について

注意事項は「**危険**」、「**注意**」、「**警告**」、「**重要**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

危険	守らないと、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が高いもの
注意	守らないと、車両及び製品を破損、または故障させる恐れがあるもの
警告	守らないと、法律に違反する恐れがあるもの
重要	本製品を使用する上で知っておいていただきたいこと

使用上の注意

- ▲カメラ映像は、ドアミラーやバックミラーなどと同様にあくまで車の安全をサポートするためのものです。本製品使用中は、必ずドライバー自身が直接周囲の安全確認をおこなってください。
- ①カメラ映像は、視野角やレンズ形状などから実際の距離とは距離感が異なります。
- ①カメラに電源が入った直後や、カメラの使用中にカメラ映像の明るさや色あいが変化することがありますが、これは周囲の明るさをカメラが検知し映像補正するために発生する症状ですので、故障ではありません。
- ①カメラの個体差や検知した光量などの違いにより、カメラ映像の色や画質が前後で若干異なる場合がありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- ▲自動洗車機などによる高圧洗浄はおこなわないでください。内部に水が浸入して故障の原因となる場合があります。
- ①本製品のカメラ本体は、必ずカメラカバーとセットで車両に装着してください。
- ①本製品を使用して発生した事故、違法行為、車両の故障または破損などの責任は一切負いません。

カバーの塗装について

▲本製品のカバーはウレタン製です。塗装するには専門の知識が必要ですので、塗装する際は専門業者に依頼してください。

メンテナンスについて

- ▲カメラ本体およびカメラカバーは、ベンジン・シンナー・ガソリン・アルコールなど揮発性がある薬品類で拭かないでください。変質・変形等の原因となります。
- ▲レンズは定期的、または汚れていたらきれいに拭いてください。ただし、拭く際は柔らかい布などに水を含ませ軽く拭く程度にしてください。強くこすったり乾いた布などで拭くと傷の原因となります。

仕様

有効画素数	約32万画素
水平解像度	約500TV本
水平画角	約100°(カメラ1台あたり)
垂直画角	80°(カメラ1台あたり)
TVシステム	NTSC
電源	DC9~15V
消費電流	約40mA(カメラ1台あたり)
動作可能温度	-20℃~+65℃
出力タイプ	正像/鏡像
表示ガイドライン	なし
ヒューズ	1A
カメラカバー表面処理	つや消し黒塗装

保証について

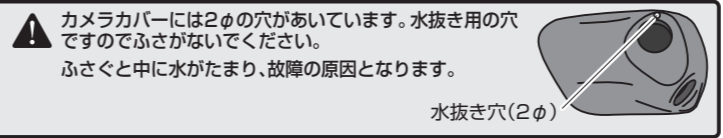
- 付属の保証書に必要事項をすべてご記入ください。特に販売店印およびご購入日の記入がない場合、保証書は無効となります。保証期間を有効にするために、必ずユーザー登録をおこなってください。
- ※保証期間はご購入日を含めて「1年間」となります(保証対象はカメラ本体のみ。カメラカバーは保証対象外です)。
- ※ユーザー登録をおこなわない場合、保証期間は無効となります。
- ※保証規定は保証書を参照してください。
- ※保証書はいかなる理由があっても再発行いたしません。あらかじめご了承ください。

保守部品の保有年数について

この製品は、補修部品の入手性、修理後の性能保証の観点から修理対応期間(保守部品の保有年数)を製造打ち切り後、6年間に設定しています。
※修理対応期間は目安であり、実際の期間は若干異なる場合があります。修理対応期間(保守部品の保有年数)を終了している製品については、修理のご依頼をお受けできない場合があります。

取り付け上の注意

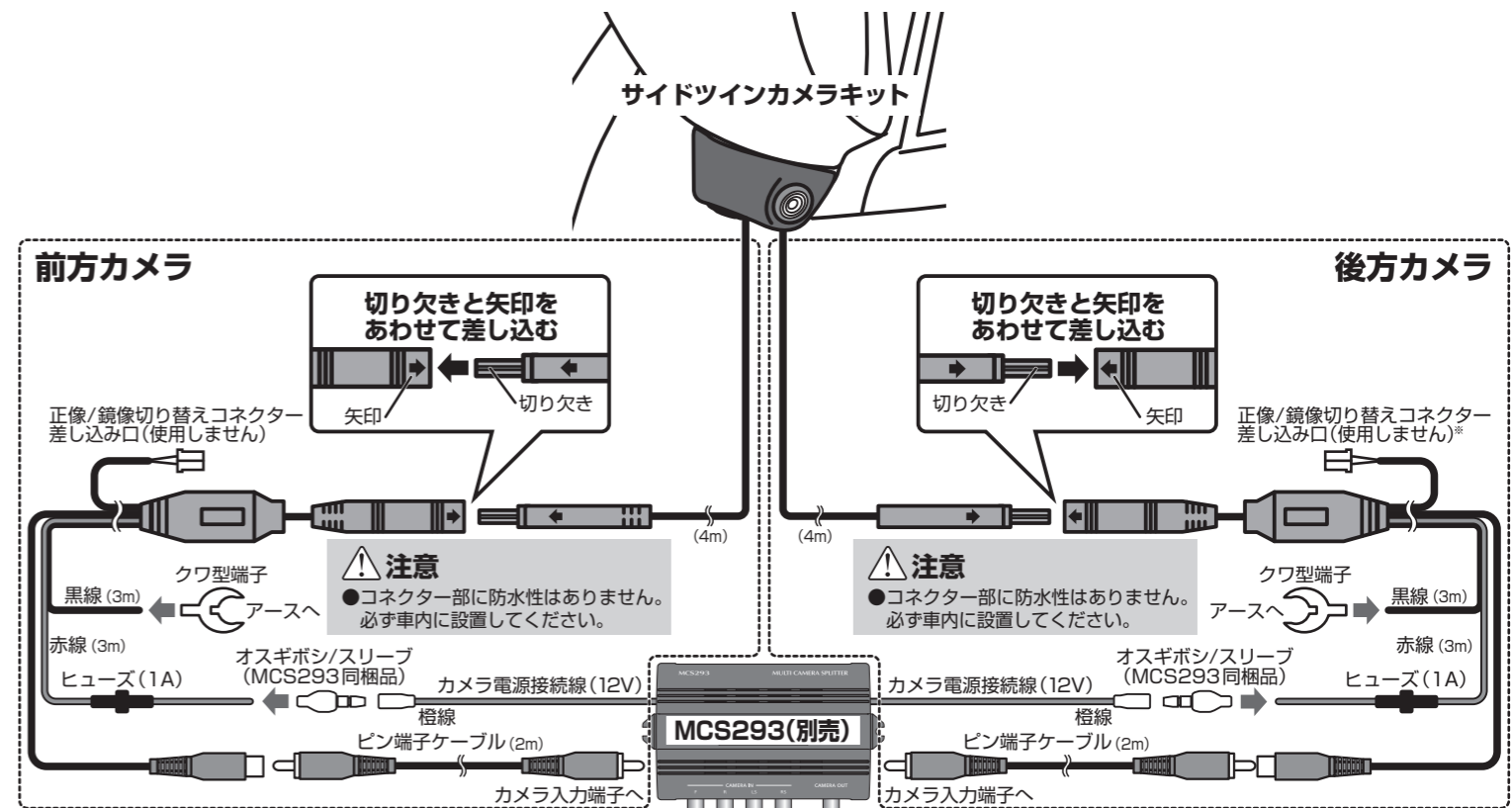
- ▲本製品は12V車専用です。
- ▲電源ハーネスは必ず付属品を使用してください。付属品以外は使用できません。
- ▲製品の取り付けは、必ず専門の知識・設備のある取扱業者でおこなってください。
- ▲取り付け作業前に、必ずバッテリーマイナス端子を外して車両側の電源を遮断してください。電源を遮断しない状況での取り付けは、ショートや感電など重大事故につながります。ただし、バッテリーマイナス端子を外す前に、消えるや困るラジオのメモリー内容などをメモしておき、取り付け完了後に再入力してください。入力方法については機器の取扱説明書をご参照ください。
- ▲車両側および本製品の配線を傷つけないよう、配線の取り回しには十分ご注意ください。また、車内に水が浸入しないよう適切な防水処理をおこなってください。
- ▲本製品の分解や改造は絶対におこなわないでください
- ▲車体から脱落しないようしっかりと装着してください。
- ▲電源ハーネスは切断して使用しないでください(延長は可)。電源ハーネスには電源回路およびヒューズが接続されていますので、これらを切断してしまうと正常動作しなかったり、車両側の故障の原因となります。
- 本書に記載されている方法以外の取り付けは絶対におこなわないでください。
- ①付属のピン端子ケーブルの長さが足りないときは、別途延長ケーブルをご用意ください。



取り付けに必要なもの

- トルクスレンチ(T-25)
- 電工ペンチ
- ビニールテープ
- ねじロック剤

接続概要図



※右図のように、後方カメラの映像をドアミラーの映りに合わせたい場合は、正像/鏡像切り替えコネクタを差し込み、カメラを180°回転させてください。

エレクトロタップの使い方

1. 接続される配線にエレクトロタップを合わせる
2. エレクトロタップのカバーをしっかりと閉じる
3. 接続する配線をエレクトロタップのストッパに当たるまで差し込む
4. エレクトロタップの接続用カバーをツメのロックがかかるまでしっかりと閉じる

正像/鏡像切り替えコネクタについて

正像で使用する場合



正像/鏡像切り替えコネクタを取り外します。

▲カメラに電源が入った状態で、正像/鏡像切り替えコネクタを抜き差ししないでください。

鏡像で使用する場合



正像/鏡像切り替えコネクタを取り付けます。

使用方法

- ▲●本製品は2台のカメラがそれぞれ独立して映像を出力するため、ナビやモニターに直接接続することはできません。
- 本製品は、2つの映像を合成する当社製マルチカメラスプリッター(MCS293)が別途必要です。

本製品の使用方法は、当社製マルチカメラスプリッター(MCS293)の取扱説明書をご参照ください。

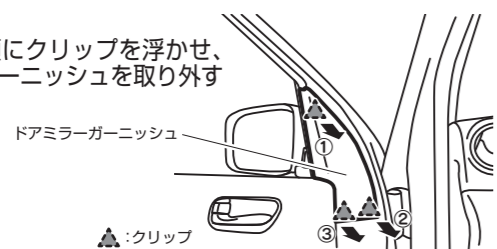
取り付け方法

1. ドアミラーを開いた状態にして、イグニッションスイッチをOFFにする

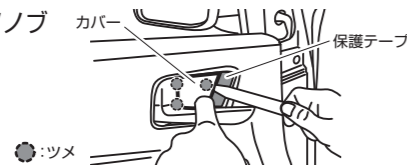
2. バッテリーのマイナス端子を取り外す

3. 助手席側のドアパネルを取り外す

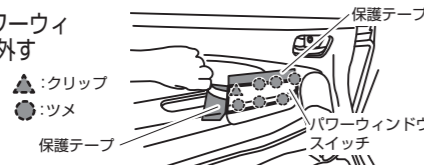
3-1 右図の番号順にクリップを浮かせ、ドアミラーガーニッシュを取り外す



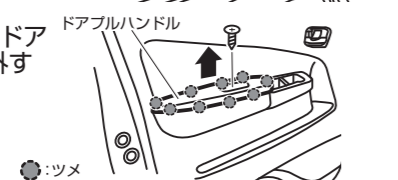
3-2 保護テープを貼り、ドアノブ奥のカバーを取り外す



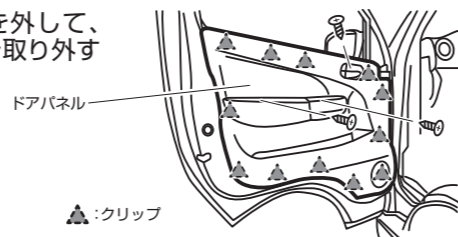
3-3 保護テープを貼り、パワーウィンドウスイッチを取り外す



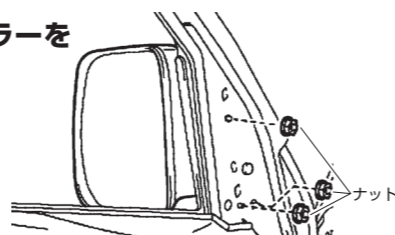
3-4 スクリューを外して、ドアダブルハンドルを取り外す



3-5 スクリューを外して、ドアパネルを取り外す



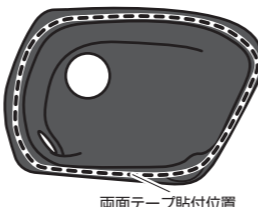
4. 助手席側のドアミラーを取り外す



5. 付属の両面テープをカメラカバーに貼り付ける

重要

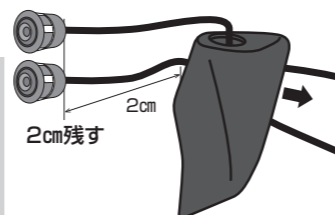
- 必ず付属の脱脂クリーナーで脱脂してから両面テープを貼り付けてください。
- 両面テープの保護シートは、まだはがさないでください。



6. サイドカメラのケーブルをカメラカバーの穴に通す

重要

- カメラカバーの穴にサイドカメラ本体をはめ込みます。ケーブルを2cm程度残してください。はめ込むとカメラの角度調整ができなくなります。

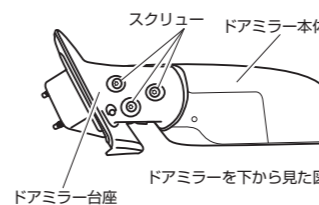


7. カメラカバーを取り付ける

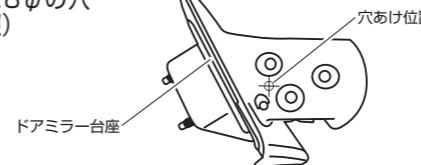
7-1 ドアミラー下部にあるスクリューを取り外し、ミラー本体と台座を分離する

重要

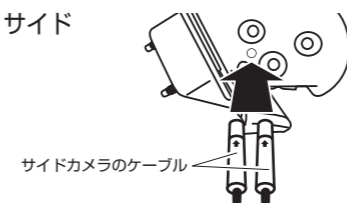
- スクリューの取り外しにはトルクスレンチ(T-25)が必要です。



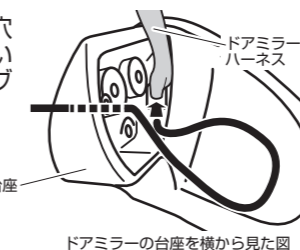
7-2 ドアミラー台座に8φの穴をあける(右図参照)



7-3 項目「7-2」であけた穴に、サイドカメラのケーブルを通す



7-4 台座のゴムカバーをめくり、横穴(ドアミラーハーネスが通っている穴)に、サイドカメラのケーブルを通す

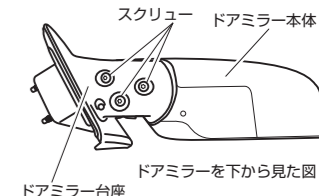


7-5 カメラカバーが取り付けできる位置まで、配線の長さを調整する

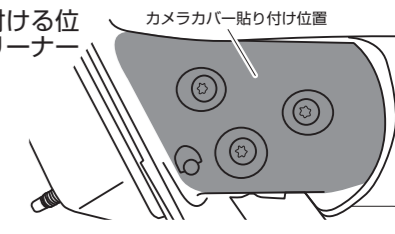
7-6 項目「7-1」で外したスクリューを使用して、台座にドアミラー本体を取り付ける

重要

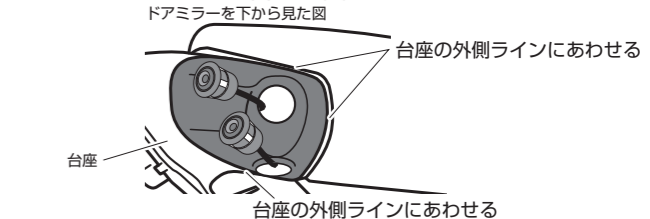
- スクリューにネジロック剤を塗布してしっかりと固定してください。



7-7 カメラカバーを貼り付ける位置を確認し、脱脂クリーナーで油分を取り除く



7-8 カメラカバーに貼り付けた両面テープの保護シートをはがし、カメラカバーと台座を固定する

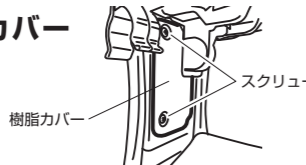


重要

- カメラカバーの穴にサイドカメラ本体をはめ込まないでください。はめ込むとカメラの角度調整ができなくなります。
- 寒い時期はドライヤーで暖めると密着しやすくなります。

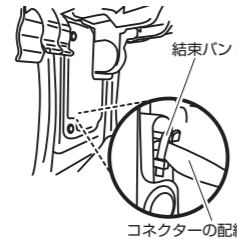
8. ドアミラーを車両に取り付ける(項目「4.」参照)

9. 発煙筒の左側にある樹脂カバーを取り外す

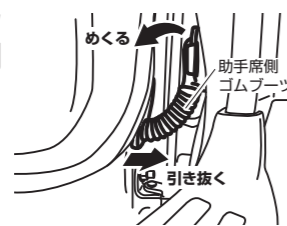


10. 樹脂カバー取り付け部の奥にあるコネクタを2個引き出して切り離す

11. コネクタの配線を固定している結束バンドを取り除く



12. 助手席側ゴムブーツのドア側を引き抜き、ボディ側をめくる



13. ゴムブーツ取り付け部のツメを押してロックを外し、ホルダーカバーを取り外す



14. サイドカメラのケーブル2本を、助手席側ドア、ゴムブーツの順に通して、車内に引き込む

注意

- ドアガラスの動きを妨げない位置に配線を通してください。



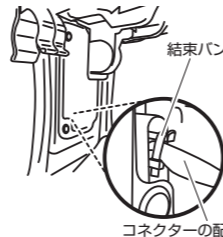
15. 助手席のドアを半開きにして、ホルダーを手前に引き出してから、ホルダーカバーを取り付ける



16. ゴムブーツのボディ側をホルダーに被せ、ホルダーを元の位置に戻す

17. ゴムブーツの助手席ドア側を元の位置にはめ込む

18. 項目「11」で外した結束バンドと同じ位置に、付属の結束バンドで配線を固定する



19. 項目「10」で切り離したコネクタ2個を接続し、元の位置に戻す

20. 項目「9」で外した樹脂カバーを取り付ける

21. 各電源ハーネスの赤線先端にスリーブとオスギボシを取り付ける



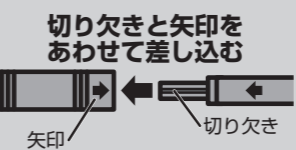
22. 各電源ハーネスの黒線先端にクワ型端子を取り付ける



23. 接続概要図を参照して、電源ハーネス/ピン端子ケーブルを接続する

注意

- カメラのコネクタは必ず車内に引き込んでから接続してください。カメラのコネクタ部は防水仕様ではないため、車外に設置すると製品故障の原因となる場合があります。
- カメラのコネクタと電源ハーネスのコネクタは、カメラ側の切り欠きとハーネス側の矢印をあわせて差し込んでください。無理に差し込むとコネクタの端子が破損する恐れがあります。



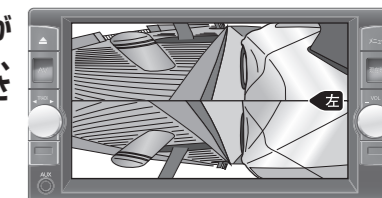
24. マルチカメラスプリッターMCS293が動作できる状態まで車両を復元してから、車両のバッテリーのマイナス端子を接続する

25. マルチカメラスプリッターMCS293を動作させて、ナビゲーションやモニターにカメラ2台の映像が表示されるか確認する

重要

- カメラの映像が表示されないときは、電源ハーネスやピン端子ケーブルの接続を再度ご確認ください。また、マルチカメラスプリッターMCS293が正常動作しているかご確認ください。

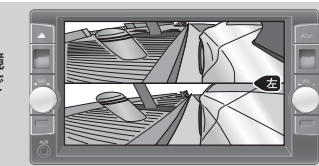
26. サイドカメラの映像が右図のように映るよう、前後のカメラを回転させて調整する



サイドツインカメラの映像を映したとき、ボディ側左サイドがほぼ一直線になる位置が最適です。
※画面はMCS293のサイドツインカメラ映像です。

重要

- 後方カメラ側電源ハーネスに正像/鏡像切り替えコネクタを差し込んでいない場合は、右図のように映ります。



27. もう一度サイドツインカメラの映像が上図のように映るか確認したあと、各ケーブルの整理、取り外した内張り類を元に戻して取り付け終了